

団体名：広島県立庄原実業高等学校
所在地：広島県庄原市
認証：ASIAGAP（平成30年10月）
応募区分：人材育成の部

面積：23a
構成員：果樹園芸研究室3年生
取組品目：日本なし・ぶどう

取組の紹介

- 同校は、農業高校拠点校として、将来のプロフェッショナルの育成、次世代農業者の育成を推進するため、また、地域モデルとなる農業の導入の一環として ASIAGAP Ver.1 に取り組んだ。

当時の県内における JGAP、ASIAGAP の認証取得農場数は 19 と少なく、同校果樹園（温室 8a を含む）23a の取得は、まさに地域のモデルとなるものであった。同校の GAP 認証取得は、中国 5 県の高校では初めてであった。



ASIAGAP 認証書

- 同校では、農場内に「農場ルール」を掲示し、毎日作業を開始する前に、守るべきルールの確認を行っている。

今後の GAP の継続審査にあたり、ICT システム「アグリノート」の導入による生産履歴記帳の負担軽減をねらっている。

学年の進行に伴い、毎年 GAP を学ぶ生徒は変わるが、継続審査を受ける課程で、新たに学ぶ生徒は先輩の実績を引き継ぎながら、年々改善による GAP の高度化に取り組んでいる。



農場マニュアルの提示

- 今後は、ASIAGAP 認証を活かしてタイへの農産物輸出を考えており、まず、輸出先国の検疫等の条件クリアについて取り組んでいる。

また、地域の GAP に関心のある生産者を対象に、同校の生徒が GAP 指導員の資格を持ちサポートする「GAP 取組支援隊」を結成し、生産者が農業経営を自己点検するためのチェック表を作成、それをを用い説明を行うなど認証取得の効果を地域に拡散している。



GAP 取組支援隊の活動